

アナログゲーム 紹介

Rubik' s シリーズ

若者の“やってみたい”を実現するための企画に予算をつけているチャレンジ・アクション。9 月に実施した 1 万円企画『Rubik' sGAME で遊ぼう!』で購入したゲーム「ルービックマッチ」「ルービックキャプチャー」「ルービックスマススタープラス」を紹介します！

ルービックマッチ

配られたカードを使って、“チャレンジカード”と同じ色・同じ配置の形を作った人がチャレンジカードをゲット！一番早くチャレンジカードを 3 枚集めた人が優勝です。チャレンジカードの難易度は 1 から 3 まであるので、気分によって変えられますよ～！【1～4 人用】



ルービックスマススタープラス

パネルをすばやくスライドさせて色を合わせる、対戦型スライドパズルゲーム。キューブダイスの色と同じ位置になるようにパネルをスライドして並び替えます。相手より早く揃えてフレームを倒したら勝ち！このゲームの遊び方はなんと 6 種類！全ての遊び方をマスターせよ！【1～2 人用】

ルービックキャプチャー

ルービックキューブカラーで構成された大きなボードの中から“キャプチャーカード”をめぐって出た色の配置を探し出します。一番早くカードと同じ色・配置を探してフレームを置いた人の勝ち！色探しゲームだから分かりやすくみんなで楽しめます！【2～4 人用】



アップス PRESS

20
December 2023

家にも学校にもないものを。

こども基本法が施行され、社会全体で子ども・若者についての取り組みが動き出しています。今回の特集では、世界の動向や国の動きを踏まえ、世田谷区の新たな取り組み、アップスが青少年交流センターとして大切にしている若者の権利の保障について取り上げています。地域の声でつくられたアップスは、開館前から施設設備や運営ルールに若者が参画してきました。約 5 年が経つ現在も受け継がれ、月に一度の J-meeting は若者の声を聴き、実現に向けて話し合う場となっています。これからも若者とともに子ども・若者の権利の実現を目指していきます。

世界子どもの日

11 月 20 日は世界子どもの日。子どもたちの相互理解と福祉の向上を目的として、1954 年に国連によって制定されました。その後 1989 年には、「子どもの権利条約」が国連で採択された日でもあります。子どもに関わるすべての人が、子どもの権利条約に定められている権利の実現に向けて取り組むこと、子どもたち自身も、自分たちの持つ権利について知り、学び、声を上げていくことが大切です。あなたも一緒に子どもの権利について考えてみませんか？

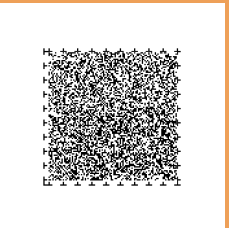
こどもまんなか

世田谷区子ども・青少年会議

世田谷区では「子どもがいきいきわくわく育つまち」に向けて、次期子ども計画の策定や子ども条例改正の準備を進めています。そこに子ども・若者の声を反映するために、子ども・青少年会議を実施しており、アップスは運営サポートをしています。これまで、小学生、中学生・高校生世代から日頃“なんでやねん”と疑問や不満に思っていることを聴いてきました。今後は、“なんでやねん”を解決するために、「自分たちでできること」と「世田谷区にして欲しいこと」を若者といっしょに考えて、提案してもらいます。



中高生の「なんでやねん」をワードクラウドで分析



【子どものけんり なんでやねん！すごろく】

キーワードは「なんでやねん!」。すごろくで遊びながら、毎日のくらしの中にある『なんで?』『これってどうなの?』と思うことをみんなで共感していきます。なんでやねんカードを読んだ後はみんなで“なんでやねん!”とつっこみます。すごろくが進むにつれて少しずつ自分の気持ちや意見を語ってくれるようになります。さらに、子どもの権利の 4 つの柱「生きる権利 (生存)」「育つ権利 (発達)」「守られる権利 (保護)」「聴いてもらう権利 (参加)」のうち、どの権利が奪われているのかを考え、振り分けていくことで、自分に権利があることを知り、学ぶことができます。「子どものけんり なんでやねん!すごろく」は、子どもの権利条約 関西ネットワークで活動する子どもとおとなで、2019 年に開発されました。今回は、子ども・青少年会議にて、子ども・若者が自らの気持ちに気づききっかけとして活用しました。

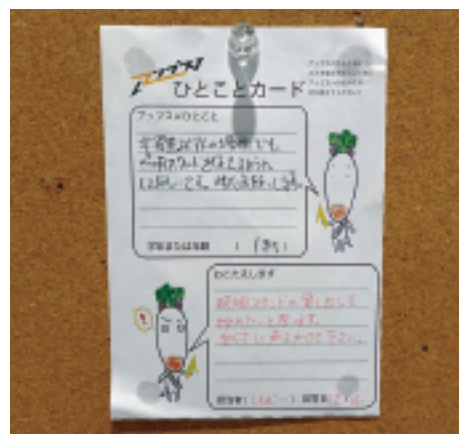


世田谷区立希望丘青少年交流センター「アップス」

Access
〒156-0055 世田谷区船橋 6-25-1-3F
HP
<https://ups-s.com/index.html>
X (旧 Twitter)
@ups_setagaya
Tel
03-6304-6915
Fax
03-6304-6916
▲HPはこちら

日常的な 意見表明 の保障

アップスには、運営委員会や J-meeting など若者が声をあげられる場がありますが、その根底にあり、大切にしているのが、若者が“いつでも”声をあげられる日常での意見表明の機会です。一つは対話を通じて、ユースワーカーが若者の声に耳を傾けること。また一緒に過ごす中で言葉にならないことばも受け止めながら、意見表明の機会を保障しています。もう一つがセンター内に常設している意見箱です。匿名で書けることで安心して気持ちを伝えることができるのが特徴です。日々感じている些細な事から施設のルールに対する要望など、ひとことカードに書いて意見箱に投函すると、ユースワーカーがお返事を書きます。



ひとことカードは、意見箱の近くのボードに掲示しています。これまでに集まったひとことカードの一部をご紹介します。「学習室以外の場所でも照明スタンドが使えるようにしてほしい。」という要望に応じて、LED ライトの貸出を始めると早速、活用する若者の姿が。「裏紙を置いてほしい。」「利用ルールを分かりやすくしてほしい。」「試験勉強のために利用していた時にユースワーカーやインターンからの声かけで頑張れました。」との大変嬉しい言葉も。皆さんからのご意見によってアップスがより居心地のよい場所になっていきます。



意見箱に寄せられるひとことカード



【ポケモン対戦会】世界大会出場者との対戦、参加した若者同士での対戦など普段なかなか体験できない機会となり、申込が殺到したゲーム対戦会。当日は、小学生を中心に 24 名の参加があり、白熱したバトルが繰り広げられました。ゲームを通じ、新たな交流が生まれたのも企画した大学生の「ゲームを通じたコミュニケーションの場をつくりたい」との想いがあったからでしょう。



地域コミュニティの一員として

若者が創るアップス縁日。今年度は、若者から 11 店舗、地域の協力団体から 10 店舗の出店があり、思い通りに準備してきたお店が勢揃い。出店した若者からは「完売という目標が達成できて嬉しかった!」「声が枯れるまで頑張った。」との声。地域にお住まいの方や子どもたち、隣接する希望丘ホームの皆さんをはじめ、929 名の来場があり、大変賑わいある縁日となりました。



11 月は、地域の至るところでおまつりが開催され、アップスからも若者とともに遊びのお店を出店しました。「フライングゴースト」「Bar アップス」など、アップスならではのゲームを持ってきました。テーマに合わせた装飾を作ったり、ゲームのシミュレーションをするなど、準備から積極的に参加してくれる若者の姿も。当日は、たくさん子どもたちに囲まれながら、お店の運営も若者が率先して行い、大盛況でした。おまつりをきっかけとして、地域に出て活動すること、交流することの楽しさを感じることができました。

- 3 日 「船橋ふれあいまつり」
(希望丘公園)
- 12 日 「子どもバザール」
(船橋児童館)
- 23 日 「ふなきぼ de フェスタ」
(船橋希望中)
- 26 日 「風太郎フェスティバル」
(上北沢児童館)

チャンピオン・チャンピオン



【Rubik'sGAME で遊ぼう!】ルービックキューブを揃えられない人とも遊びたい!との想いから高校生の若者が企画。1 万円の予算の中で購入できるゲームを調べて、ルービックと名の付く 3 種類のゲームを新たに購入しました。周知のためのポスターはお手の物。当日は、日常のゆるやかな雰囲気の中で、多世代の若者同士が輪になり、楽しく遊ぶ様子が見られました。